

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

1 学校教育目標 (略「学校経営」参照)

2 評価する領域・分野	◇保健厚生部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安全・衛生面については、ご理解頂けている。 ・非常変災時の対応については、対策マニュアルの周知徹底を図る必要がある。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら健康で安全な生活を営む能力・態度を育成する。 ・快適で安全な環境作りに努める中で、公共物や自然を大切にすること豊かな人間性を育てる。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会や安全衛生委員会の充実を図り、各分掌長、学年会や保護者及び学校医などの関係諸機関との連携を図る。 ・地域環境教育において各分掌・学年との連携を図る。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 保健室利用における指導と教育相談室との連携 (2) 学校環境整備と環境美化の実施 (3) 非常変災時の危機管理体制と「命の教育」による心豊かな人間形成	(1) 保健室来室状況の変化と充実度 (2) 学校環境整備や清掃に対する意識向上 (3) 危機管理体制の整備及び意識向上と豊かな人間形成	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 全校集会・学年集会において保健指導の実施 (2) 環境整備や美化委員会の活性化 (3) 防災避難訓練や教職員と部活動代表生徒への普通救命講習会による「命の教育」	(1) 保健室の利用状況と保健指導 (2) 学校環境整備と清掃意識の向上 (3) 非常変災時の対応と命の教育	(1) Ⓐ B C D (2) A Ⓑ C D (3) Ⓐ B C D
11 成果・課題	○本年度の活動については概ね良好であった。 ○3回の命を守る訓練を通して防災意識の高揚を図れた。 ○教職員を対象とした「普通救命講習会」を実施することができた。 ○校務員とのタイアップにより、美化委員会の活性化を図れた。 ○感染症防止のための手立てを図る。	
12 来年度に向けての改善方策案	(1) 非常変災時のマニュアルの見直しや、非常変災時における危機管理体制の強化を図る。 (2) 美化委員会の活性化を図り、清掃に対する意識を高めていく指導を充実させる。 (3) 高校生防災リーダーを中心に、さらに防災意識の高揚を図る。	
		総合評価 A Ⓑ C D